



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局 淀川河川事務所	配布日時	平成30年9月18日 14時00分
資料配布		

件名	みんなで街中に浸水想定テープを貼ろう! ～淀川の想定最大規模洪水の浸水位を「見える化」～
----	--

概要	<p>淀川河川事務所では、市町等と水防災意識社会の再構築に取り組んでおり、生活空間である“まちなか”に想定される浸水位の看板を設置する「まるごとまちごとハザードマップ」の実施を推進しています。</p> <p>この度、従来の看板による点状に掲示する手法を発展させ、テープにより線状に想定浸水位を各戸で明示する「まるごとまちごとハザードマップ」を地域の皆さまや学生防災ボランティアとともに取り組みます。</p> <p>見えない想定浸水位を、自ら見える化し実感して頂くことで、減災意識の向上を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none">●日時：平成30年9月23日(日) 午前10時～12時●場所：門真市立北巢本小学校体育館 及び 周辺住宅街 (大阪府 門真市北巢本町2-11 他周辺)●構成：10:00 講演(淀川の氾濫による浸水想定について説明) 10:30 フィールドワーク(周辺で想定浸水テープ貼り) <p>※現地取材について 予め、下記問い合わせ先へ連絡のうえ受付していただくか、当日に会場受付していただければ、個別に対応いたします。</p>
----	--

取扱い	_____
-----	-------

配布場所	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、北摂記者クラブ
------	----------------------------

問合せ先	近畿地方整備局 淀川河川事務所 副所長 犬丸 潤 (内線 206) 調査課長 森田 一彦 (内線 351) TEL 072-843-2861(代表)
------	---

発展させた「まるごとまちごとハザードマップ」の実施概要

○日時・会場

- ・平成30年9月23日(日)午前10時より12時頃まで 小雨決行
(荒天による延期の場合はホームページ※にてお知らせします)
- ・門真市立^{きたすもと}北巢本小学校 体育館 及び 周辺住宅街
(大阪府門真市北巢本町2-11 他周辺)

○参加者

- ・門真市城垣町自治会^{しろがきちょう}の皆さま、北巢本小学校区の皆さま
(大阪国際大学プレッパーズ部(防災ボランティアサークル))

○構成・スケジュール

- ・10:00 講演(淀川の氾濫による浸水想定について説明)
- ・10:30 活動(周辺の住宅街で想定浸水テープを貼るフィールドワーク)
- ・11:30 確認(スマートフォンを利用したAR技術による想定浸水を確認)

○背景・目的

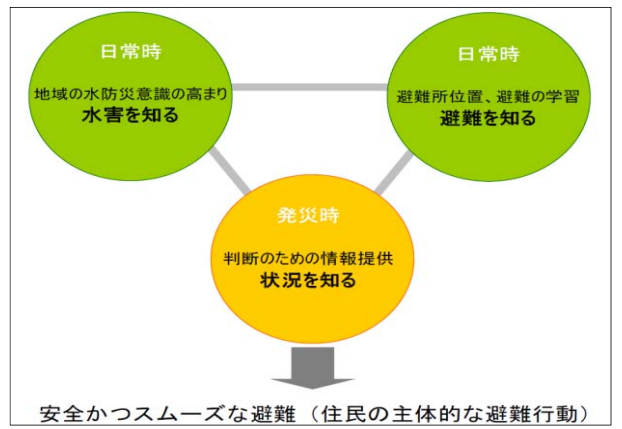
- ・淀川の洪水浸水想定区域は、平成29年6月に想定最大規模の降雨による浸水想定へ更新した。
- ・門真市は、淀川に接しておらず淀川から離れているが淀川の氾濫による浸水想定区域に該当する。(過去に水郷農村であったことから、現在は急速に発展した住宅街であるが低平地が広がる地形特性)
- ・淀川河川事務所は、水防災意識社会再構築ビジョンに基づき、日常空間である“まちなか”に想定浸水位の標識(まるごとまちごとハザードマップ)を設置してきたが、想定される浸水を地域の皆さまに、より実感して頂けるよう改善が課題であった。
- ・このため、従前の看板設置による点状に浸水位を掲示する手法を発展させ、各戸で連続してテープにより線状に浸水位を明示する「まるごとまちごとハザードマップ」を地域の皆さまと取り組むこととする。
- ・見えない想定浸水位を見える化し、水害を我ごととして実感して頂くことで減災意識の向上を目指すもの。

※淀川河川事務所HP <https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/index.php>

発展版「まるごとまちごとハザードマップ」とは...

【「まるごとまちごとハザードマップ」の目的】

浸水深や避難所等に関する情報を水害関連標識として生活空間である「まちなか」に表示することにより、日常時から水防災への意識を高めるとともに浸水深・避難所等の知識の普及・浸透等を図り、発災時には命を守るための住民の主体的な避難行動を促し、被害を最小限にとどめることを目的としています。



【「まるごとまちごとハザードマップ」の掲示】

まるごとまちごとハザードマップとは、「洪水(浸水深)」や「避難所」の情報を、水害関連標識として看板を設置するものです。標識には、次のとおり全国で統一的に使用する図記号(JIS Z 8210)を記載します。



河川氾濫を意味する図記号

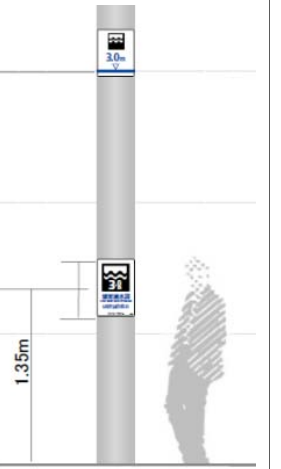


避難所を意味する図記号

(電柱等への設置の場合)

想定浸水深の高さ、もしくは実績浸水深の高さにラインを設定する

表示板面の中心を概ね
h=1.35m に設定する



課題: 点在する特定の電柱における想定浸水位が掲示されても、ご覧になる方の自宅における水位は明らかにならないため、当事者の現実味が無い。

これまでの「まるごとまちごとハザードマップ」から 掲示方法を点から線へ発展させます!!

想定浸水位を示す「青色テープ」を、自宅や周辺の建物(対象は予め許可済のもの)に、地域の皆さまと一緒に線状に貼るフィールドワークを試行として実施します。

- ※テープ素材は、貼って剥がせるマスキングテープ状
- ※テープ貼付は、一週間は存置し30日に撤去予定

青色テープ



○ご自身で自宅の外壁や塀に連続して青色テープを貼ることで、見えない想定浸水位を見る化し、想定される浸水位(水害)を我ごととして実感して頂きます。

○青色テープを地域の皆さまがご近所さんとの共同作業により貼ることで、地域の絆が高まります。
⇒減災意識が向上し、地域防災力が高まることを目指します。

発展版「まるごとまちごとハザードマップ」実施イメージ

◆発展させた「まるごとまちごとハザードマップ」実施イメージ

⇒自宅^{そらでい}で想定される浸水位に線状に、自ら「青色テープ」を貼ることで、浸水(水害)は他人事でないことを実感して頂きます。



※青色テープは淀川河川事務所から参加者へ配布し、貼り付けは了承くださった民家や店舗等^{よどがわ}にのみ仮設的に施します。

◆AR技術を駆使した想定浸水状況のビューア画像(参考)

⇒青色テープを貼ってご自宅での浸水位が把握できたら、次にスマホを用いてAR技術により想定される浸水状況を疑似体験して頂きます。



※当該地域に限らず、今後淀川河川事務所ではホームページにて洪水浸水想定の詳細(具体的な地先での想定浸水深等)を分かりやすく広報してまいります。

【参考】水防災意識社会再構築について(淀川管内)

○平成27年9月関東・東北豪雨を踏まえた「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づき、全ての直轄河川とその沿川市町村において、平成32年度目途に水防災意識社会を再構築するためのハード・ソフト対策を一体的、計画的に取り組んでいます。



水防災意識社会再構築ビジョン

取組概要

・各地域において、河川管理者・都道府県からなる協議会等を設置し、減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進する。

【ハード対策】 住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるよう、より実効性のある「住民目線のソフト対策」へ転換し、重点的に実施する。

【ソフト対策】 「洪水を安全に流すためのハード対策」に加え、氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危険管理型ハード対策」を実施する。

<危機管理型ハード対策>
○越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策の推進
いわゆる粘り強い構造の堤防の整備

<被害軽減を図るための堤防構造の工夫(対策例)>

天端のアスファルト等が、越水による侵食から堤体を保護(鳴瀬川水系百田川、平成27年9月関東・東北豪雨)

堤断面図

天端のアスファルトによる保護

排水溝

<洪水を安全に流すためのハード対策>
○優先的に整備が必要な区間において、堤防のかさ上げや浸透対策などを実施

<住民目線のソフト対策>

- 住民等の行動につながるリスク情報の周知
 - ・立ち退き避難が必要な家屋倒壊危険区域等の公表
 - ・住民のとるべき行動を分かりやすく示したハザードマップへの改良
 - ・不動産関連事業者への説明会の開催
- 事前の行動計画作成、訓練の促進
 - ・タイムラインの策定
- 避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供
 - ・水位計やライブカメラの設置
 - ・スマホ等によるプッシュ型の洪水予報等の提供

※ 河川堤防の決壊に伴う洪水氾濫により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域

ソフト対策の主な取組(淀川河川事務所と沿川市町や関係機関による大規模氾濫減災協議会により進めています)

①地域ごとの特性に応じた避難方法を踏まえ、住民の主体的かつ適切な避難行動を促すための取組

■想定最大規模洪水を対象とした水害ハザードマップの策定・周知等

- ・水害ハザードマップの更新・周知
- ・まるごとまちごとハザードマップの実施
- ・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用

■適切な避難行動の実現に向けた取組

- ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの整備
- ・関係機関との情報共有体制の整備
- ・避難計画等の策定
- ・避難訓練の実施
- ・避難誘導體制の整備

■避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

- ・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成
- ・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善
- (水害時の情報入手のし易さをサポート)

■防災教育や防災知識の普及

- ・住民等を対象とした水防災に関する講習会等の開催
- ・小学生や教員を対象とした水防災に関する講習会等の実施

■避難行動のための情報発信等の充実

- ・避難行動に資する情報発信等の充実

②発災時に可能な限りの避難時間を確保し、人命と財産を守るための水防活動強化の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

- ・市町と水防事務組合(水防団(消防団))の連絡体制の再確認等
- ・水防事務組合(水防団(消防団))や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検
- ・関係機関が連携した実働水防訓練の実施
- ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進

③一刻も早い生活再建及び都市機能・社会経済活動の回復のための排水活動強化の取組

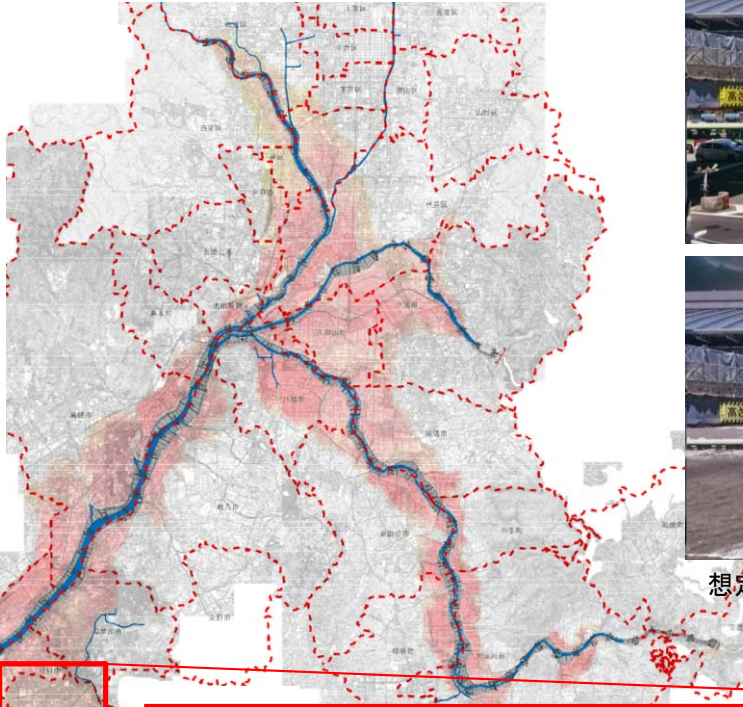
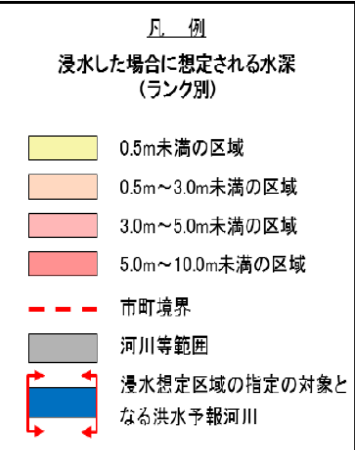
■排水施設の耐水化及び排水訓練の実施

- ・排水施設の耐水化
- ・排水検討及び排水訓練の実施

【参考】淀川の洪水浸水想定区域について(門真市)

- 水防法が平成27年7月に改正され、洪水浸水想定区域は想定し得る最大規模の洪水に係る区域に拡充。
- 淀川河川事務所では平成29年6月14日に洪水浸水想定区域図を公表。
(想定し得る最大規模の洪水：年超過確率1/1,000程度)

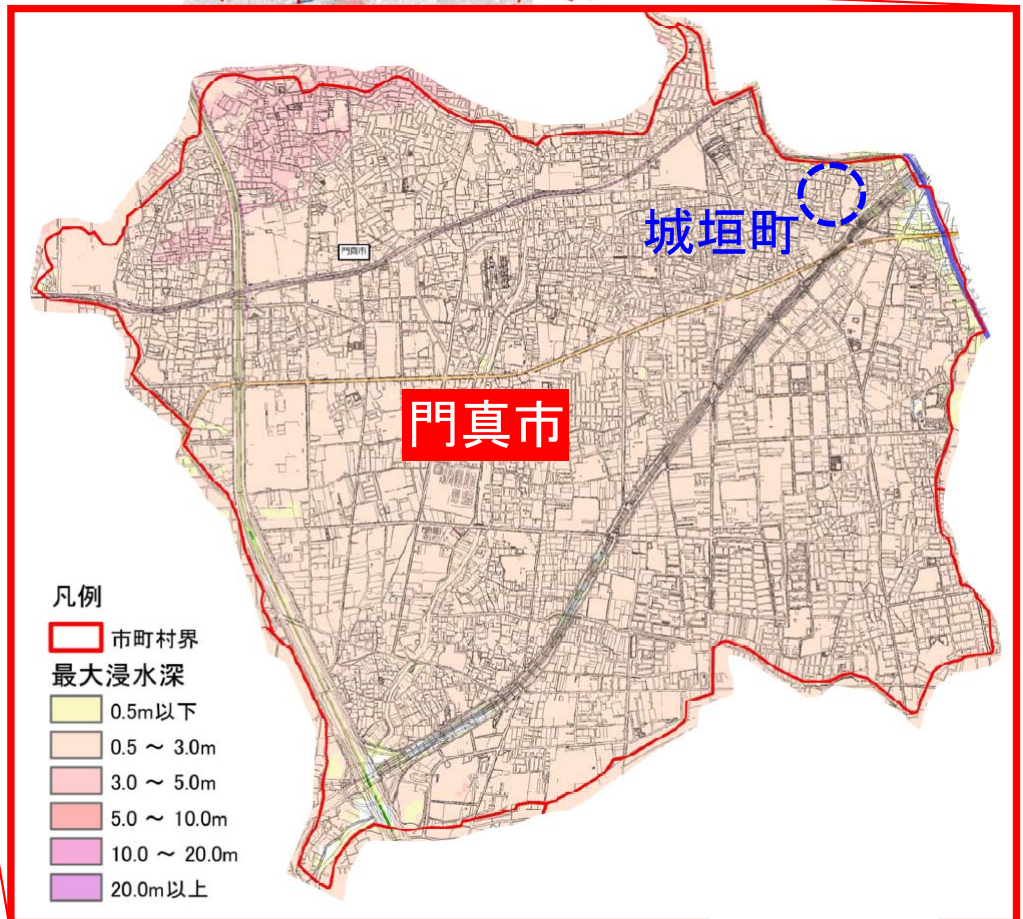
淀川洪水浸水想定区域(平成29年6月14日公表)



想定最大規模の降雨による大阪駅周辺における浸水イメージ

門真市域における浸水想定

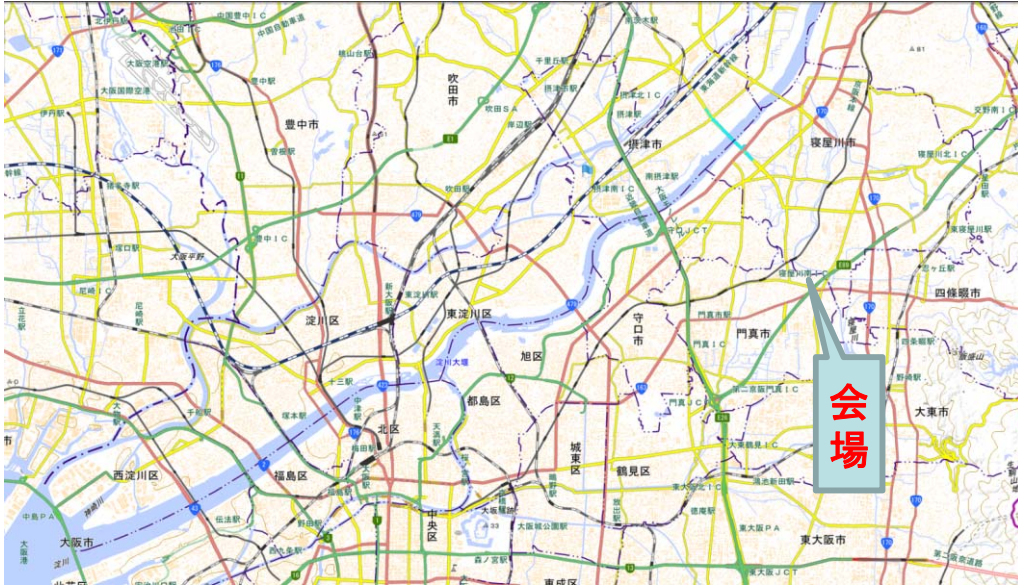
- ・浸水面積
12.2(km²)
- ・最大浸水深
4.7(m)
- ・平均浸水深
1.8(m)



【参考】会場へのアクセスについて(北^{きたすもと}巢本小学校)

○日時:平成30年9月23日(日)10時から12時

○場所:門真市立北^{きたすもと}巢本小学校体育館 他周辺住宅街



- ・会場:門真市立北巢本小学校体育館 及び 周辺住宅街
(〒571-0073 大阪府門真市北巢本町2-11 他周辺)
- ・受付:当日における受付は体育館にて設けます